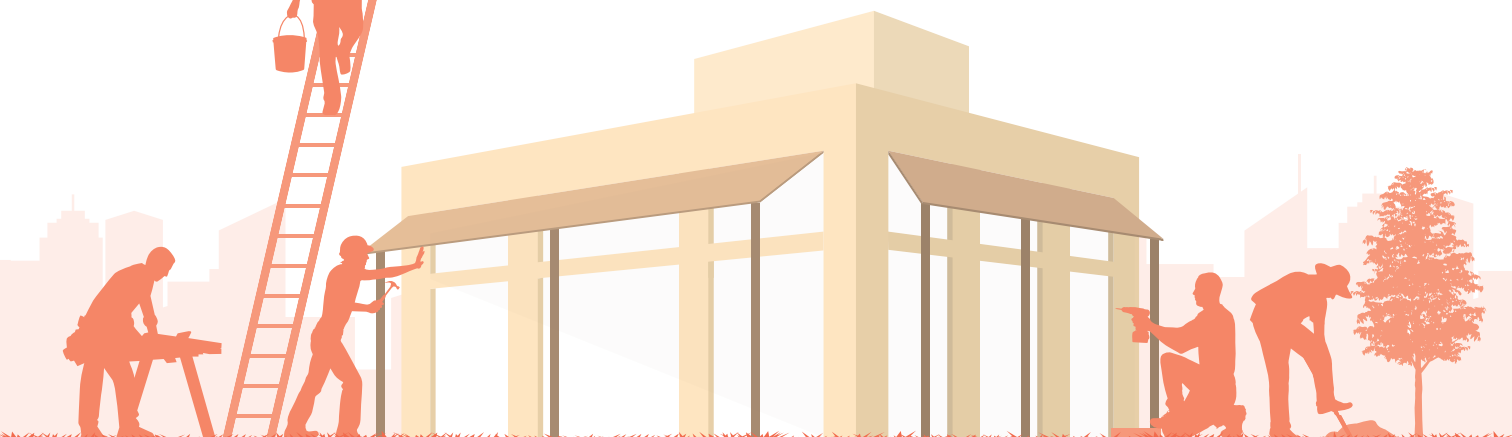




ENCHO

第58期 中間報告書

平成30年4月1日から平成30年9月30日まで



C O N T E N T S

■ 株主の皆様へ	1
■ 事業別の概況	2
■ 連結財務諸表（要旨）	3
■ トピックス	5
■ 企業情報	6

株式会社 **インチョー**

証券コード：8208

株主の皆様へ



取締役社長

遠藤 健夫

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループの第58期中間期(平成30年4月1日から平成30年9月30日まで)の営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

業績の概要

当中間期における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで緩やかな回復が続くことが見込まれるものの、深刻化する人手不足や根強い消費者の節約志向など、流通業共通の課題に対して解消の兆しは見えず、業況改善に向けた動きは力強さを欠く状況となっております。

ホームセンター業界におきましては、成長は鈍化し市場規模が横ばいで推移するなか、新たなマーケット開拓と需要の喚起が課題となっており、各社とも自社の得意分野においてシェア拡大に取り組んでいる状況です。

このようななかで当社グループは、地域の人々の快適な住まい・暮らしをサポートする地域No.1の企業グループを目指し、中期経営計画スローガンとして「ENCHOアクション」を掲げ、地域に根差した品揃えの最適化と専門店事業推進による売上高の拡大、仕入れ力とコスト削減強化による「収益力の向上」、在庫回転率の向上を図る「在庫の適正化」、働きやすい職場環境づくりを目指す「働き方改革」の取り組みを推進しました。具体的施策といたしましては、ホームセンター店舗では現場の声を反映した商品政策の推進とサポート体制の強化を図り、専門店では新規出店による売上高の拡大を図りました。また不採算な商品仕入れの抑制、高回転率商品の集中仕入れにより利益率の改善に取り組みました。9月には、高度な機能を備えながらも集約し効率化した物流センターの稼働を開始し、流通体制の整備を行いました。働き方改革の取り組みにつきましては、新たにプロジェクトチームを発足させ、業務の見直しを行い働きやすい環境づくりに向けた活動を推し進めました。

店舗につきましては、平成30年4月、愛知県豊田市にハードウェアショップとして愛知県初出店となる、道具と資材の専門店「ハードストック豊田」ならびにアウトドアショップ「スウェン豊田店」を同時オープンし、成長分野の拡大に努めました。

またジャンボエンチョー富士店の敷地内に2店舗目となる「ダイソー ジャンボエンチョー富士店」をオープンし、ホームセンターと100円均一ショップを隣接することによる買い物の利便性向上と、相乗効果を図りました。

販売の状況につきましては、ホームセンター事業において、5月の天候不順により販売が伸び悩みましたが、その後の猛暑によりレジャー用品、冷房用品等の夏物季節品の販売が大きく伸長したほか、相次ぐ自然災害により災害関連用品の販売が増加しました。また、専門店事業のハードウェアショップおよびアウトドアショップにおいては、新店の寄与に加え、既存店の販売も引き続き好調に推移しております。

以上の結果、当中間期の売上高は19,480百万円(前年同期比99.8%)、営業利益は359百万円(同108.2%)、経常利益は267百万円(同116.2%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は168百万円(同119.7%)となりました。

今後の見通し

今後の見通しにつきましては、景気は緩やかな回復が続くことが期待されるものの、個人消費の鈍さに加え、金融資本市場の変動の影響、海外経済の不確実性、通商問題の動向が世界経済に与える影響など、依然として先行き不透明な状況が続くものと思われれます。

ホームセンター業界においては、従来の本格的DIYから一般ユーザーが気軽に楽しめるDIY提案への流れにより女性向け・ファミリー向けの商品ラインナップを拡充する動きと、プロ向け専門ショップ化の2極化があり、またコト消費型店舗の展開、インターネット販売への分散化等により、既存市場は縮小が続くものと思われれます。

このような状況下で当社グループは、業績の伸長を図り持続的な成長を確保するために、市況や商圈の変化に対応しながら、これまでの事業構造改革と業務の効率化を同時に進めていくことが重要と認識しております。

事業構造改革につきましては、新店計画の推進、既存店の改装計画、地域に根差した品揃えの最適化や陳列の見直し、売場の活性化を主体とする「収益力の向上」を重点課題と位置づけ、引き続き成長分野である専門店事業の拡大と新たな事業同士のコラボレーション、新たなマーケット開発に取り組んでまいります。業務の効率化につきましては、日々変化するお客様ニーズと商品動向の見極めおよび鮮度管理の徹底による「在庫の適正化」、より働きがいのある企業を目指し「働き方改革」を、引き続き進めてまいります。

なお、本年10月、「カーサ駿東店」のホームアシスト内移設、「スウェン三島店」の移転増床、ジャンボエンチョー菊川店のリニューアルを実施いたしました。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

事業別の概況

ホームセンター事業

■ 売上高
160 億 42 百万円
 前年同期比 **97.1 %**



■ DIY用品 ■
 ■ 売上高 **45 億 42 百万円** 前年同期比 **98.7 %**

木材、住宅設備関連では、新商品をセットしたトイレ、キッチン等水回りのリフォーム、長期保証のビルトインが好調に推移しました。

工具、塗料関連では、非常用飲食物品、電源等ライフライン関連を中心とした防災用品が大きく伸長し、夏場の猛暑需要により空調服、工場扇が大きく売上を伸ばしました。

■ 園芸・ペット・カーレジャー用品 ■
 ■ 売上高 **61 億 04 百万円** 前年同期比 **96.5 %**

園芸、エクステリア関連では、造園・庭園資材、花苗が伸び悩み一方で、ファニチャーやオーニング等夏物商材は販売好調でした。

ペット用品関連は、ウェア、玩具を中心に好調、レジャー用品も提案を強化しBBQ、クーラー、ビーチ商材などが伸長しました。

■ 家庭用品 ■
 ■ 売上高 **53 億 95 百万円** 前年同期比 **96.5 %**

日用品、雑貨関連は、消費者の節約志向が続いており、家庭用品、日用品は全般に伸び悩みました。

インテリア、電気関連では、新生活提案の寝具類が伸長したものの、主力の敷物類は低調でした。夏物季節家電は扇風機、サーキュレーター、エアコンなど全般に販売好調でした。

専門店事業

■ 売上高
29 億 37 百万円
 前年同期比 **117.0 %**



ハードウェアショップにおいては、季節関連商品、補修資材と作業用品の販売が大きく伸長しました。

また、アウトドアショップにおいてはキャンプ用品やウェアなどのカテゴリが伸長し、アウトドア入門者の購入を中心に既存店、新店ともに好調に推移しました。

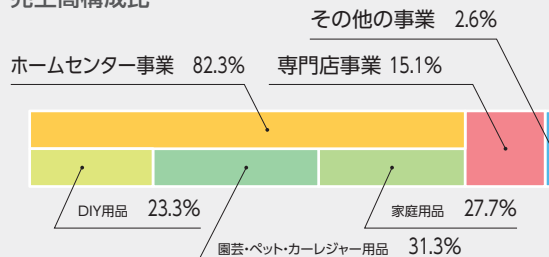
その他の事業

■ 売上高
4 億 99 百万円
 前年同期比 **103.7 %**



その他の事業には、木材およびDIY関連商品の卸売事業、ソフトウェアの開発・販売事業、ショッピングセンターの運営管理およびビルメンテナンス業務の受託事業等が含まれております。この内、木材の卸売事業、ソフトウェアの開発・販売事業など全般に好調に推移しました。

売上高構成比



(注) 第57期第3四半期連結会計期間より事業区分を変更したため、前年同期比較にあたっては、前年同期の数値を変更後の区分に組み替えて比較を行っております。

連結財務諸表(要旨)

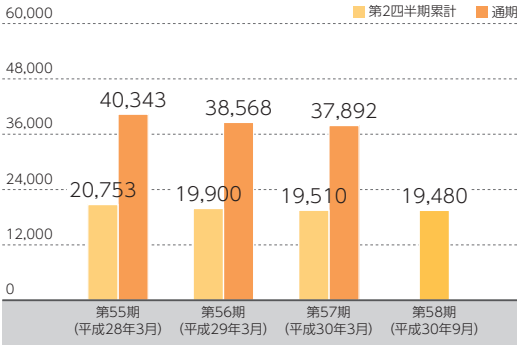
四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期末 平成30年9月30日現在	前期末 平成30年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	12,727	13,399
固定資産	24,099	24,425
資産合計	36,826	37,825
(負債の部)		
流動負債	17,040	16,385
固定負債	10,401	12,146
負債合計	27,441	28,531
(純資産の部)		
株主資本	9,211	9,111
資本金	2,902	2,902
資本剰余金	3,435	3,435
利益剰余金	2,890	2,789
自己株式	△16	△16
その他の包括利益累計額	173	182
純資産合計	9,384	9,294
負債純資産合計	36,826	37,825

(注) 1. 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。
 2. 「税効果会計に係る会計基準の一部改正」等を当第1四半期連結会計期間の期首より適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分とし、繰延税金負債は固定負債の区分としております。

売上高 (単位:百万円)



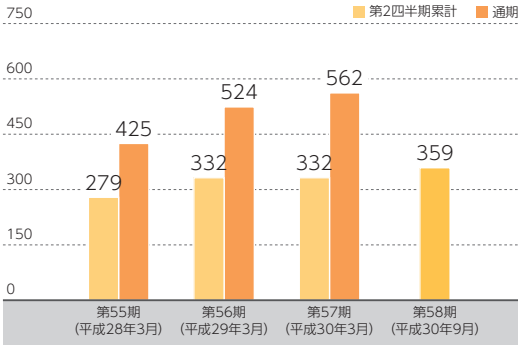
四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計 平成30年4月 1日から 平成30年9月30日まで	前第2四半期累計 平成29年4月 1日から 平成29年9月30日まで
売上高	19,480	19,510
売上原価	13,793	13,813
売上総利益	5,686	5,697
営業収入	632	583
営業総利益	6,319	6,280
販売費及び一般管理費	5,959	5,947
営業利益	359	332
営業外収益	36	37
営業外費用	129	140
経常利益	267	229
特別損失	0	10
税金等調整前四半期純利益	267	219
法人税、住民税及び事業税	89	85
法人税等調整額	9	△6
四半期純利益	168	140
親会社株主に帰属する四半期純利益	168	140

(注)記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

営業利益 (単位:百万円)

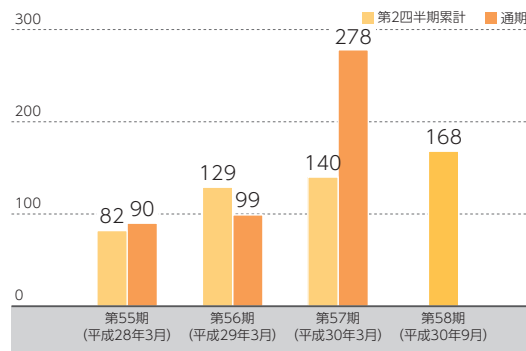


四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計 平成30年4月 1日から 平成30年9月30日まで	前第2四半期累計 平成29年4月 1日から 平成29年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	1,333	1,038
投資活動による キャッシュ・フロー	△156	0
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,070	△714
現金及び現金同等物に係る 換算差額	1	0
現金及び現金同等物の 増減額	108	324
現金及び現金同等物の 期首残高	2,207	2,187
現金及び現金同等物の 四半期末残高	2,315	2,512

(注)記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位:百万円)



Point

連結貸借対照表

- 現金及び預金が108百万円、流動資産のその他が30百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が45百万円、商品が768百万円減少し、流動資産は672百万円減少しました。また、建物及び構築物が72百万円、建設仮勘定が113百万円、有形固定資産のその他が71百万円、長期貸付金が47百万円それぞれ減少し、固定資産は326百万円減少しました。
- 支払手形及び買掛金が212百万円減少しましたが、短期借入金が732百万円、未払法人税等が54百万円、流動負債のその他が78百万円増加し、流動負債は655百万円増加しました。また、長期借入金が1,517百万円、退職給付に係る負債が66百万円、固定負債のその他が142百万円減少し、固定負債は1,744百万円減少しました。

連結損益計算書

- 個人消費の停滞は長期化しており、売上高は30百万円減少しました。
- 利益面では、営業利益が27百万円、経常利益が38百万円、親会社株主に帰属する当期純利益が28百万円それぞれ増加しました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

- 主な要因は、税金等調整前四半期純利益267百万円、減価償却費347百万円、たな卸資産の減少額765百万円、仕入債務の減少額239百万円、未払消費税等の増加額114百万円によるものであります。

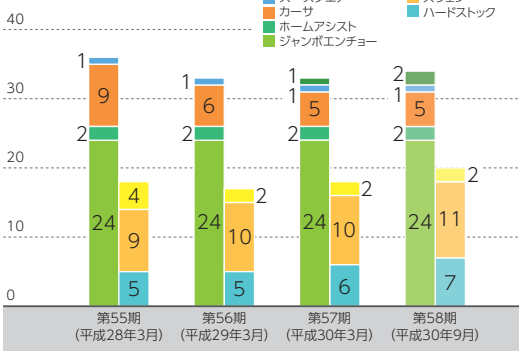
投資活動によるキャッシュ・フロー

- 主な要因は、有形固定資産の取得による支出224百万円、敷金及び保証金の回収による収入20百万円、投資活動のその他の収入51百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

- 主な要因は、長短借入金の減少787百万円、リース債務の返済による支出191百万円によるものであります。

店舗数 (単位:店)



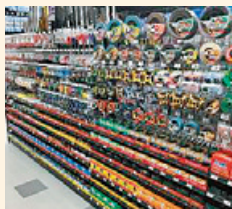
トピックス

ハードストック豊田 スウェン豊田店 同時オープン

平成30年4月1日、愛知県豊田市に静岡県外初となるプロツール専門店ハードストックをオープンしました。同じく専門店事業であるスウェンを同一敷地内に併設し、客層の異なる専門店同士のコラボレーション効果を探る新たなチャレンジを行いました。

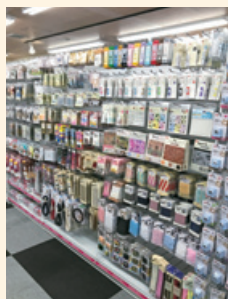
ハードストック豊田では‘本物志向’をモットーに、良質な一流メーカーやブランド品をリーズナブルな価格で提供することを心がけ、工場や車関連商材の拡充を行いました。また当店の主要客層である職人の業務車に多いワンボックス後方収納など、提案型の売場構成にも注力しました。

スウェンでは、様々な楽しみ方で人気が高まっているキャンプをメインに、アウトドアを快適に楽しむためのライフスタイル提案に注力しました。また店舗内のみならず、愛知県では初となる路面店の立地を活かし、週末には駐車場を活用しテントの展示イベントを開催するなど、お客様が商品を体験・体感できるように提案を工夫しております。



ダイソー ジャンボエンチョー 富士店 オープン

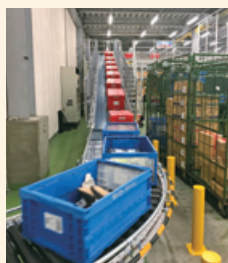
平成30年9月26日、ジャンボエンチョー富士店の敷地内に、2店舗目となるダイソー ジャンボエンチョー富士店をオープンしました。1Fフロアではお菓子やキッチン用品、掃除用品などの日用品を中心に、2FではDIY、ホビー、文具、園芸用品を展開。女性、ファミリー層の圧倒的な支持を得ている100円均一ショップをホームセンターに隣接して開店し、既存顧客の利便性向上と新規顧客獲得を同時に図ってまいります。



新物流センター稼働

平成30年9月3日より、富士市五貫島に商品物流機能を集約し、新物流センターとして新たに稼働を開始しました。新物流センター稼働に伴い、仕分運搬設備の更新を行い、作業効率の向上と店舗への納品日数の短縮を目指してまいります。

また倉庫内作業者の健康維持、作業能率維持のため、空調設備や照明器具の入れ替えによる環境整備を行いました。



企業情報 (平成30年9月30日現在)

会社の概要

商 号……株式会社エンチョー(ENCHO CO.,LTD)
設 立……昭和37年7月19日
本 店……静岡県富士市中央町二丁目12番12号(〒417-0052)
資 本 金……29億295万円
従業員数……459名(連結) 414名(単体) 出向者、準社員、パート
タイマー等を除く
事業目的……DIY用品(木材、住設、塗料、工具等)、園芸・ペット・
カーレジャー用品(園芸、エクステリア、ペット、カー用
品、レジャー用品等)、家庭用品(日用品、インテリア、収納
用品、電気用品等)の販売、住宅のリフォーム請負
子 会 社……株式会社ジャンボ、株式会社システック、
株式会社ジェイ・イー・サービス

役 員

代表取締役 取締役社長	……遠 藤 健 夫	常勤監査役	……望 月 学
常務取締役	……長谷川 英 一	社外監査役	……吉 田 龍 美
常務取締役	……遠 藤 秀 男	社外監査役	……新 保 昌 義
取 締 役	……小野田 智 則	執行役員	……佐 野 憲 作
取 締 役	……貫 名 信 行	執行役員	……岩 城 陽 介
取 締 役	……中 村 晴 隆		
社外取締役	……仁 瓶 眞 平		

株式の状況

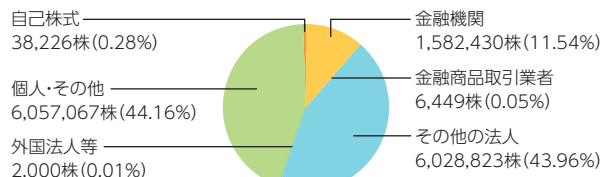
発行可能株式総数……24,000,000株
発行済株式の総数……13,714,995株
株主数……1,276名
(注)平成30年10月1日付株式併合により、発行可能株式総数は12,000,000株、発行済株
式の総数は6,857,497株となりました。

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社無量寿	3,031	22.16
エンチョー共栄会	2,285	16.71
すてきなイスグループ株式会社	1,235	9.03
株式会社三井住友銀行	666	4.87
エンチョー従業員持株会	560	4.10
遠藤健夫	411	3.01
遠藤敏東	407	2.98
山種不動産株式会社	232	1.70
株式会社三菱UFJ銀行	182	1.33
株式会社静岡銀行	176	1.29

(注) 1. 持株比率は自己株式(38,226株)を控除して計算しております。
2. 株式会社三菱東京UFJ銀行は、平成30年4月1日付で株式会社三菱UFJ銀行に
商号変更しております。
3. 株式併合前の平成30年9月30日時点の保有状況を記載しております。

所有者別株式数



(注)株式併合前の平成30年9月30日時点の保有状況を記載しております。

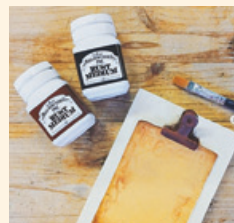
DIY工房のご紹介



『DIY工房』は、気軽にDIYを楽しんでいただくためのスペースです。無料で利用できる様々な手工具、電動工具を用意しておりますので、当店でご購入いただいた木材を、最適な道具を用いて加工することができます。

カフェにいるような落ち着いた雰囲気の中で、女性のお客様でも利用しやすく、手ぶらで気軽にDIYをお楽しみいただけます。

各種ワークショップや実演会などのイベントも開催しています。
是非、ご活用ください。



ワークショップ開催店舗：ホームアシスト、ジャンボエンチョー静岡店、ホーム
アシスト清水駒越店、ジャンボエンチョー磐田店、ジャンボエンチョー鳴海店

ネットワーク (平成30年9月30日現在)

店舗

神奈川県

カーサ アピタ長津田店
カーサ リコ ボーノ相模大野店

静岡県 東部

ジャンボエンチャー富士店
ダイソージャンボエンチャー
富士店 (平成30年9月26日開店)
ジャンボエンチャー沼津店
ジャンボエンチャー富士西店
ジャンボエンチャー富士宮店
ジャンボエンチャー御殿場店
ホームアシスト

ハードストック沼津

カーサ 駿東店 (平成30年10月11日移転)

カーサ 富士店

カーサ アピタ富士吉原店

スウェン 三島店 (平成30年10月11日移転)

スウェン クロスガーデン富士中央店

スウェン イオンモール富士宮店

静岡県 中部

ジャンボエンチャー静岡店
ジャンボエンチャー相良店
ジャンボエンチャー清水店
ジャンボエンチャー藤枝店
ジャンボエンチャー清水鳥坂店
ジャンボエンチャー下川原店
ジャンボエンチャー島田店
ホームアシスト清水駒越店
ハードストック焼津
ハードストック吉田
ハードストック静岡
ズースクエア静岡店
スウェン 清水店

カーサ&スウェン 島田店

静岡県 西部

ジャンボエンチャー掛川店
ジャンボエンチャー浜松店
ジャンボエンチャー浜松南店
ジャンボエンチャー菊川店
ジャンボエンチャー湖西店
ジャンボエンチャー磐田店
ジャンボエンチャーきらりタウン浜北店
ハードストック浜松
ハードストック浜松早出
ダイソージャンボエンチャー
浜松南店

スウェン 浜松店

スウェン 袋井店

カーサ&スウェン イオンモール浜松市野店

愛知県

ジャンボエンチャー鳴海店
ジャンボエンチャー蟹江店
ジャンボエンチャー高蔵寺店
ジャンボエンチャー岡崎店
ジャンボエンチャー豊橋神野店
ハードストック豊田 (平成30年4月1日開店)
スウェン エアポートウォーク名古屋店
スウェン ヒルズウォーク徳重店
スウェン ラグーナ蒲郡店
スウェン ナディアパーク栄店
スウェン 豊田店 (平成30年4月1日開店)

ショッピングセンター

静岡県

ベイドリーム清水

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京証券取引所

上場証券取引所

公告の方法

公告掲載URL

電子公告により行う

<https://www.encho.co.jp/ir/ectaison.html>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
4. 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、平成29年8月14日付にて上記のとおり変更しております。

単元株式数の変更・株式併合に関するご案内

適切な投資単位水準への調整を目的として、平成30年10月1日付で、単元株式数を1,000株から100株に引き下げるとともに、株式併合(2株を1株に併合)を実施いたしました。なお、株主の皆様におかれましては、特段の手続きは不要ですので、念のため申し添えます。

株主優待制度変更のお知らせ

当社は株主の皆様のご支援にお応えるため、年1回、株主優待制度を実施しております。この度の株式併合に伴い、平成31年以降に実施する株主優待制度より内容を下記のとおり変更いたします。

1. 株主優待制度の対象となる株主様

3月末日時点で株主名簿に記載または記録されている当社株主5単元(500株)以上を保有している株主様

2. 株主優待制度変更の内容(①または②を贈呈)

①株主ご優待券の贈呈基準

株主ご優待券	保有株式数
200円券×60枚	500株～999株
200円券×120枚	1,000株～1,499株
200円券×180枚	1,500株～1,999株
200円券×240枚	2,000株～2,499株
200円券×300枚	2,500株以上

②株主優待品との引換基準

株主優待品	保有株式数
5,000円相当	500株～2,499株
10,000円相当	2,500株以上

3. 変更時期

平成31年3月末日現在の株主名簿に記載または記録された株主様を対象とする株主優待から実施いたします。

なお「株主優待のご案内」は、6月初旬にお届けする「定時株主総会 招集ご通知」に同封させていただきます。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。